

“気づき、つながり、

共に取り組む”

若年性認知症に やさしいまちへ

若年性認知症が知られるようになったのは、

1990年代後半から2000年代初頭と言われているが、身近な社会課題として考えられるようになったのはつい最近である。

本県においても、“認知症”は、高齢者だけに
おこるものではない”という意味での啓蒙活動
が、当事者及び家族、行政機関、各種関係者を中
心に行われ、県民に知られるようになった。

一方で、“当事者・家族の生きづらさ”の理解や
「地域や周囲の関わり」、「社会的な支援体制」の
整備は、まだ発展途上である。

そこで、今年度の研修では、当事者・家族の思
いや願いに気づき、つながり、共に取り組む、実
践を参考にしながら、それぞれの立場でどのよ
うな視点を持ち、取り組んでいくべきかを考え
るつもりとする。

日時

令和7年 **12月18日** 木
10:00～16:30

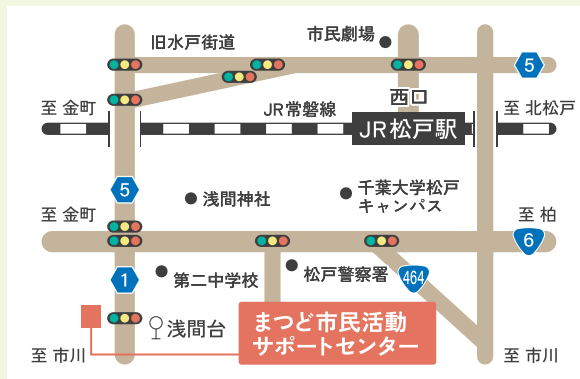
会場

まつど市民活動サポートセンター 大会議室
〒271-0094 千葉県松戸市上矢切 299-1
松戸市総合福祉会館1階

参加費無料
定員 **70名**



オンライン参加もできます



申込方法

右記の2次元コードまたは下記URLよりお申し込みください。
なお、FAXでの申し込みも可能です。（裏面の様式で申込可能です）

<https://00m.in/HKNmU>



申込締切 ▼

2025年
12月10日(水)

留意事項 ▶ 参加にあたり、配慮が必要なことがありましたら事前にご相談ください。

お問い合わせ先



一般社団法人

ちば地域密着ケア協議会

〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3（千葉県経営者会館1階）

TEL：043-244-2601 / FAX：043-244-2602

E-mail：c3-chiba@salsa.ocn.ne.jp

プログラム・講師紹介

対面形式

対面
30名

第1部

10:00

12:00

若年性認知症実践者のつどい（グループワーク）

参加者個々人が、若年性認知症の方との関わり事例を持ち寄り、支援等に関する意見交換と共に、支援の視点に関して学び合う。

ハイブリット形式（対面＆オンライン）

対面
70名

オンライン
30接続
（予定）

第2部

13:20

14:20

若年性認知症当事者・家族の思い

語り手

※当事者・家族 調整中

「若年性認知症当事者から伝えたいこと」

若年性認知症当事者や家族の思いや声を聞きながら、置かれている状況や環境を理解する。

聞き手

藤田 睦美

（千葉県若年性認知症支援コーディネーター）

ハイブリット形式（対面＆オンライン）

対面
70名

オンライン
30接続
（予定）

第3部

14:30

16:30

シンポジウム 「若年性認知症の人を地域で支えるために

～松戸市での取り組みから～

若年性認知症当事者を地域で支えるために必要なことを、当事者や実践者、専門職、市民等それぞれの話を聞きながら考え、受講者それぞれに自らの支援について考える。

シンポジスト

当事者・家族の立場

当事者・家族

自治体の立場

松戸市高齢者支援課

医療の立場

旭神経内科リハビリテーション病院

院長

松井 敏史

介護事業所の立場

デイサービス胡録台

生活相談員

山下 美和

地域団体の立場

一般社団法人 Mi-Project

代表

松村 大地

市民の立場

（くるみの会発起人）坂本ゆかり

コーディネーター

藤田 睦美（千葉県若年性認知症支援コーディネーター）

受講対象者 ▶

介護事業者、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等職員で、現在若年性認知症の方への介護・支援等を実施している方、高齢者福祉担当自治体等職員、当事者とその家族

参加申込書

FAX: **043-244-2602** 申込締切: **12月10日** 水

ふりがな	お電話
参加者氏名	
所属団体等	ご希望の参加プログラムに○をお願いします 第1部 ・ 第2部 ・ 第3部

※ オンラインでの参加を希望する方は、表面の2次元コードよりお申込みください

申込・お問合せ

一般社団法人ちば地域密着ケア協議会

☎ 043-244-2601 ☒ c3-chiba@salsa.ocn.ne.jp